

【緊急レポート】新型肺炎とその影響 ④

■ マスクや除菌用品の品薄深刻に

- ・国内の家庭用マスクの在庫は19年1月1日時点で10億枚
- ・1月16日からの約2週間で同量の10億枚が出荷、
現在の生産量は月6億枚(平時の5割増)
- ・「必要量が行き渡り買いためが収まれば、品薄はあと2週間ほどで解消される可能性がある」との見解を示すも、先行きは見通せず
- ・メーカーも工場を24時間体制に変え増産体制で対応
- ・皮膚洗浄剤類の売り上げをみると、1月29日時点の
千人あたり販売金額はいずれも1週間前の8倍近くに達した
- ・目を守るゴーグルにも関心が集まる



■ 新型肺炎への対応と予防策

1. 新型肺炎の症状・特徴

感染者と濃厚接触があり、次のような症状が急激にでた場合は感染が疑われる

- ・38℃以上の発熱、悪寒
- ・関節痛、筋肉痛
- ・倦怠感、疲労感
- ・頭痛
- ・寝込むほどひどい症状

2. 感染防止策

- ・現時点で有効なワクチン・治療薬はまだない
- ・マスクの着用など咳エチケット
- ・こまめな手洗い

3. 感染が疑われる場合の対応

- ・マスクを着用すること
- ・地域の保健所もしくは厚生労働省の電話相談窓口に対処方法や医療機関・受診方法について相談する

[厚生労働省の電話相談窓口]

電話番号 03-3595-2285

受付時間 9時00分～21時00分(土日・祝日も実施)

4. 職場内で感染者が出た場合の対応

- ・机、ドアノブ、スイッチなど感染者がよく触れていたところのアルコール消毒の徹底

5. 行動制限

- ・感染が疑われる場合は、検査結果が出るまで自宅待機とする
- ・感染が確認された場合は、治癒するまで出勤停止とする
- ・同居者が感染した場合も、治癒するまで出勤停止とする